



情文センターFAX・メール通信

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2019年の干支は己亥（つちのとい）ですね。己（つちのと）の年は、己の足元を固めて、次の段階を目指す準備をする年と言われています。猪突猛進のイメージの亥年ですが、内観を心がけるとよいようです。自然災害が多かった昨年ですが、ここ数年続くような予報も出ていますから、引き続き日ごろから防災を心がけましょう。

さて、念頭に、明るい予想はないかとインターネットを検索して見ましたら何と「照明」に関する文章に出会いました。電気設備学会というところが発行している学会誌の特集「感性を刺激するあかり」（感性と電気設備 3 石田聖次）というもので、著者は様々な空間に照明を提供する専門家です。なんとなく読み始めたらとてもよいことが書いてありました。照明が進化してどんどん人工の強い明かりに人々がさらされることによる脳への悪い影響を危惧し、こう述べています。「道具が進化することで利便性が高まり、道具なしでは対応できない事例が増加している。移動を補助する道具に頼ることで足腰が弱まり、危険性を伴う作業も道具により、安全に行うことができるようになった反面、道具なしでは何もできない状況がある。通信機器の進化もコミュニケーションなどの低下が見られる・・・中略・・・これから来る資源問題や地球温暖化への対応や、障害者差別解消法等で行われる事柄。どれも、仕方なく行うのではなく、暗くて美しい世界を作っていたら、いつの間にかエコロジーであり、ユニバーサルデザインだったというような光が望ましい」福祉の世界にも共通するエッセンスがちりばめられています。制度があるから仕方なくではなく、本当に人に優しい明るさの丁度良い福祉を考えていきたいと思いました。強く人を刺激し傷つけてしまう力は持ちたくないものです。強い光にさらされている人々が柔らかい光と出会えますように。

今年一年、皆さまお一人お一人が大切にされますように。嬉しいことがありますように。施設長 森せい子

聴覚障害者情報提供施設のお知らせ

手話サロン

申込不要・無料

日時:1/10(木) 13:30~15:00

会場:当センター地下研修室

手話で気楽におしゃべりを楽しみましょう。

※聞こえない家族がいる聴者は参加できます。



~センター見学者の感想から~



センターでは随時見学を受けています。見学者からいただいた感想から職員も元気をいただいています。掲載の許可をいただいた感想の一部をご紹介します。

日本語字幕付映画上映会

申込不要・無料

『一心太助 天下の一大事』(1958年 91分)

江戸の人気者、一心太助が親分と共に悪者を懲らしめるため大暴れ。新年にぴったりの痛快時代劇です。

※茶話会付

日時:1/31(木) 13:30~15:30

会場:当センター地下研修室



Aさん「私も誰かがうれしいと思ったり喜んでくれるようなことをしたいと思いました。」

Bさん「耳が不自由な人のためにどうすればいいのか工夫している姿がかっこいいです。」

Cさん「手話だけでなく耳に関することを多く調べて周りに広げていきます。」

Dさん「このセンターでは障害を持っている人が楽しく過ごしたり人と関わられるような活動をしている。仲間や支えてくれる人がいる！」

★各講座のお問合せ・申込みはこちらまで★

(社福)聴覚障害者情報文化センター聴覚障害者情報提供施設 〒153-0053 東京都目黒区五本木 1-8-3

TEL:03-6833-5004 FAX:03-6833-5005

Eメール soudan@jyoubun-center.or.jp ウェブサイト <http://www.jyoubun-center.or.jp/>

【開館】火・水・木・土曜日 10時~17時 金曜日 10時~19時 【閉館】日・月曜日・祝日・年末年始

★FAX・メール通信の配信停止、配信方法の変更などありましたらお知らせください★

法人からのお知らせ

明けましておめでとうございます。自主制作DVD新年第一弾は、大人気

「手話かみしばい」シリーズの最新作「ガリバー旅行記」を制作している

ところです。こちらのDVDは、聴覚障害者だけでなく手話学習者にも楽しめ、

学べるような内容になっています。販売についてはホームページに掲載します。お楽しみに！

